	THE TOTAL LINE AND A PL	受理官庁記入欄 ——	(
	国際出願番号	DCT	
	国際出願日	15.10.03	
	(受付印)	受領印	

特許協力条約に基づく国際出願

願

出願人は、この国際出願が特許協力条約に従って処理されることを請求する。	X 4H-17				
	出原人又は代理人の書類記号 (希望する場合、最大 2 2 字) NT1373				
第 I 欄 発明の名称					
通信型ナビゲーションシステムにおける入力支	援方法ならびに装置				
		·			
第 工棚 出願人 この欄に配載した者は、発明者でもあ		21 5母号:			
03-3212-1111					
│ 株式会社日立製作所 │ HITACHI ,LTD.		ファクシミリ母号:			
〒101-8010 日本国東京都千代田区神田駿河台	四丁目6番地	03-3214-3116			
6, Kanda Surugadai 4-chome, Chiyoda-ku,		加入電信番号:			
OKYO 101-8010 JAPAN		出顧人登録番号:			
·					
圆籍(图名): 日本国 JAPAN	住所(图名): 日本国 JAPAN				
この欄に記載した者は、次の 物定国についての出版人である: すべての指定国	除くすべての指定国 米国のみ	追記欄に記載した指定国			
第Ⅲ欄 その他の出願人又は発明者					
氏名(名称)及びあて名:(姓・名の類に記載; 法人は公式の完全な名称を記載	; あて名は即便番号及び国名も記載)	この柄に記載した者は 次に該当する: .			
新 吉高		出原人のみである。			
│ ATARASHI Yoshitaka │ 〒319-1292 日本国茨城県日立市大みか町七丁	□目1番1号	▶ 出版人及び発明者である。			
株式会社 日立製作所 日立研究所内					
c/o HITACHI, LTD. Hitachi Research Laboratory, - LERR のみである。					
1-1, Omika-cho 7-chome, Hitachi-shi, IBARAKI 319-1221 JAPAN		出願人圣録音号:			
IDANANI 318-1221 JAI AN	•				
]新 (国名): 日本国 JAPAN	住所(国名): 日本国 JAPAN				
この欄に記載した者は、次の 指定国についての出願人である: すべての指定図 米国を	除くすべての指定国	追記欄に配載した指定国			
✓ その他の出願人又は発明者が検禁に記載されている。					
第IV欄 代理人又は共通の代表者、通知のあて名					
次に記載された者は、国際機関において出類人のために行動する: 代理人 共迎の代表者					
氏名(名称)及びあて名:(姓・名の順に記載:法人は公式の完全な名称を記載:あて名は郵便番号及び固名も記載) (監督号:					
6850 弁理士 小川 勝男					
OGAWA Katsuo, Patent Attorney (Reg.NO.6850) 〒103-0025 日本国東京都中央区日本橋茅場町二丁目9番8号友泉茅場町ビル 日東国際特許事務所 Nitto International Patent Office, Yusenkayabacho Building, 9-8, Nihonbashi-kayabacho 2-chome, Chuo-ku, TOKYO 103-0025 JAPAN					
			通知のためのあて名:代理人又は共通の代表者が遺任されておらず、上記枠内に特に通知が送付されるあて名を記載している場合は、レ印を付す。		

株式PCT/RO/101 (第1用紙) (2001年3月版)

2			1
	٠	٠	ı

第Ⅲ欄の続き その他の出願人又は発明者			
	は、この用紙を顧客に含めないこと。		
氏名 (名称) 及びあて名: (姓・名の順に記載: 法人は公式の完全な名称を記載 奥出 真理子 OKUDE Mariko 〒319-1292 日本国茨城県日立市大みか町七 株式会社 日立製作所 日立研究所内	この標に記載した者は 次に該当する: 出題人のみである。 ・ 出題人及び発明者である。 ・ 発明者のみである。		
c/o HITACHI, LTD. Hitachi Research Laborato 1-1, Omika-cho 7-chome, Hitachi-shi, IBARAKI 319-1221 JAPAN	(ごこにレ印を付したときは、 以下に配入しないこと) 出版人登録番号:		
國籍(图名):日本国 JAPAN	住所 (图名): 日本国 JAPAN		
世史国についての出版人である:	を除くすべての指定国 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	追記欄に記載した指定国	
氏名(名称)及びあて名:(姓・名の順に起教:法人は公式の完全な名称を記 中原 崇 NAKAHARA Takashi	この様に記載した者は 大に該当する: 出版人のみである。		
〒319-1292 日本国茨城県日立市大みか町七 株式会社 日立製作所 日立研究所内 c/o HITACHI, LTD. Hitachi Research Laborate	〒319-1292 日本国茨城県日立市大みか町七丁目1番1号 株式会社 日立製作所 日立研究所内		
1-1, Omika-cho 7-chome, Hitachi-shi, IBARAKI 319-1221 JAPAN		(ここにレ印を付したときは、 以下に記入しないこと) 出願人登録番号:	
国籍(图名):日本国 JAPAN	住所(國名): 日本国 JAPAN		
機会関係のいての出版人である。	回を除くすべての指定国 / 米国のみ	迫記標に記載した指定国	
氏名 (名称) 及びあて名: (姓・名の頃に記載; 法人は公式の完全な名称を記 松尾 茂 MATSUO Shigeru 〒319-1292 日本国茨城県日立市大みか町七	この欄に記載した者は 大に眩当する: 出版人のみである。		
株式会社 日立製作所 日立研究所内 c/o HITACHI, LTD. Hitachi Research Laborat 1-1, Omika-cho 7-chome, Hitachi-shi, IBARAKI 319-1221 JAPAN	発明者のみである。 (ここにレ印を付したときは、 以下に犯入しないこと) 出版人登録番号:		
BARAKI 319-1221 JAFAN			
図線 (国名): 日本国	住所 (国名): 日本国 JAPAN		
地震関係のレアの出頭上がある・	国を除くすべての指定国 メ 米国のみ	追記標に記載した指定国	
氏名 (名称) 及びあて名: (姓・名の頃に記載; 法人は公式の完全な名称を起 川股 幸博 KAWAMATA Yukihiro	この欄に配敷した者は 次に該当する: 山豚人のみである。		
→ 〒319-1292 日本国茨城県日立市大みか町 ¹ → 株式会社 日立製作所 日立研究所内	✓ 出類人及び発明者である。 ──発明者のみである。		
c/o HITACHI, LTD. Hitachi Research Laboratory, 1-1, Omika-cho 7-chome, Hitachi-shi, IBARAKI 319-1221 JAPAN		レー (ここにレ印を付したときは、 以下に記入しないこと) 出版人登録番号:	
IBARAKI 319-1221 JAPAN			
国籍 (国名): 日本国 JAPAN 住所 (国名): 日本国 JAPAN この網に記載した者は、次の			
			その他の出願人又は発明者が他の統築に記載されている。

様式PCT/RO/101 (模葉) (2001年3月版)

第V欄 国の指定 (放当するロにレ印を付すこと;少なくとも1つのロにレ印を付すこと)。					
規則 4.8(a)	D規定に基づき次の指定を行う。 ほかの観覚	の保護又は取扱をいずれかの指定国(又は OAPI)で求る	のる場合には追記期に記録する。		
広城特			Power in and investment & O.		
OAP	ARIPO特許: GH#	ーナGhana, GMガンピアGambia, KEケ:	=7 Kenya I S ky h Lesotho		
	MWマフワイ Malawi、 MZモ	ザンピーク Mozambique S D スーダン Suden	ST シェラ・レナス Giorga Y cono		
	S Z スワジランド Swaziland. T	2 タンザニア United Republic of Tangania ■ T1	「C・ウガンダ Floordo ク B グザンピア クo…b!-		
	と W シンパフエ Zimbabwe, 及び	ハラレブロトコルと特許協力条約の締約団である他	の国(他の種類の保護ヤけ形り扱いを求める母々		
	にほぶ級上に記載する)				
UEA	ユーラシア特許:AMア	レメニア Armenia, A Z アゼルバイジャン Azer	baijan, B Yベラルーシ Belarus.		
	Fodorotion T. P. St. 7 (2)	く Z カザフスタン Kezakhetan. MDモルドヴ	Republic of Moldova, RUDVT Russian		
	締約国である他の国	ijikistan, TMトルクメニスタンTurkmenistan	,及びユーラシア特許条約と特許協力条約の		
DEP	当 一 ロップの店の国	ーストリア Austria, B EベルギーBelgium, B			
	スイス及びリヒテンシュタイン Swit	zerland and Liechtenstein, C アキプロス Cyp	GUNNIF Bulgaria, CH and L1		
	ツ Germany。D K テンマーク Det	mark. EEエストニア Estonia. ESスペイ	ンSnoin F I フィンランド Pinland F D		
	フランス France、G B 英国 Unite	d Kingdom、GRギリシャGreece、IEナイ	ルランド Ivaland I アイタリア Holy I II		
	ルクセンフルク Luxembourg, M C	こモナコ Monaco、N L オランダ Netherlands。	P Tポルトガル Portugal S E スウェーデン		
	Sweden, SKスロヴァキアSlova	kia, T R トルコ Turkey,及びヨーロッパ特許の	約と特許協力多約の締約団である他の国		
	OAPI特許:BFブルキ	ナ・ファソ Burking Faso. B I ペナン Benin	C. F. HA 77 11 to Central African Republic		
	C G コンゴ Congo, C I コートジ	ボアール Côte d'Ivoire. C Mカメルーン Camero	on, G A ガボン Gahon, G N ギニア Guinea		
	G Q 水道ギニア Equatorial Guines	, GWギニア・ビサオ Guinea-Bissau, ML	マリ Mali, MRモーリタニア Mauritania, N		
	トリカール Niger, S Nセネカノ もり物質物である的の控制関係もそれる	V Senegal, TD ++ Chad, TG >- In	go, 及びアフリカ知的所有権機構のメンバー国で		
	のり、存れ風力来約の称約回である他の)国(他の種類の保護又は取り扱いを求める場合に	は京願上に記載する)		
Y					
	许(他の種類の保護又は取り扱いを求				
	アラブ首長国連邦	ロG E グルジア Georgia	□ N Zニュー・ジーランド New Zealand		
	United Arab Emirates	ロGHガーナGhana	***************************************		
	アンティグア・バーブーダ	□ G Mガンピア Gambia	□ O Mオマーン Oman		
	Antigua and Barbuda	□ H R クロアチア Croatia	□ P Hフィリピン Philippines		
DAL	アルバニア Albania	□ H UハンガリーHungary	□ P L ポーランド Poland		
	アルメニア Armenia	🛘 I Dインドネシア Indonesia	□ P Tポルトガル Portugal		
	ナーストリア Austria	□ I LイスラエルIsrael	□ R Oルーマニア Romania		
	トーストラリア Australia	□ I NインドIndia	□ R Uロシア Russian Federation		
DAZ	アゼルバイジャン Azerbaijan	□ I Sアイスランド Iceland	•••••••••••••••••••••••••••••••••••		
:		□ J P 日本 Japan	□ S Dスーダン Sudan		
	ドスニア・ヘルツェゴヴィナ Bosnia	□ K E ケニア Kenya	ロS Eスウェーデン Sweden		
	zegovina	□ K Gキルギスタン Kyrgyzstan	ロS Gシンガポール Singapore		
	ベルバドス Barbados	口KP北朝鮮	□ S I スロヴェニアSlovenia		
LIB G7	アルガリア Bulgaria	Democratic People's Republic of Korea	□ S Kスロヴァキア Slovakia		
LBK?	ブラジル Brazil	□ K R 韓国 Republic of Korea	ロ S L シエラ・レオネ Sierra Leone		
L B Y	ペラルーシ Belarus	□ K Z カザフスタン Kazakhstan	□ T J タジキスタン Tajikistan		
	ベリーズ Belize	ロ L Cセント・ルシア Saint Lucia	□ T Mトルクメニスタン Turkmenistan		
	フナダ Canada	口 L Kスリ・ランカ Sri Lanka	□ T Nテュニジア Tunisia		
	ndL I スイス及びリヒテンシュタイン	□ L R リベリア Liberia	□ T R トルコ Turkey		
	rland and Liechtenstein	□ L S レソト Lesotho	ロエ エトリニダッド・トバゴ		
	国 China	□ L Tリトア=ア Lithuania	Trinidad and Tobago		
	ロンピア Colombia	□ L Uルクセンブルグ Luxembourg	ロ T Z タンザニア		
	マスタリカ Costa Rica	ロレマラトヴィア Latvia	United Republic of Tanzania		
	ューハ* Cuba	□MA∓□y□ Morocco	□ U A ウクライナ Ukraine		
	± = Czech Republic	□MDモルドヴァ Republic of Moldova	□ U G ウガンダ Uganda		
	イツ Germany		☑ U S 米国 United States of America		
	シマーク Denmark	□MGマグガスカル Madagascar	E O O AE Officed Diates of America		
	ミニカ Dominica	□MKマケドニア旧ユーゴスラヴィア	□ U Z ウズベキスタン Uzbekistan		
	ルジェリア Algeria	共和国 The former Yugoslav Republic of	□ ∨ Nベトナム Viet Nam		
	クアドル Equador	Macedonia	□ Y Uユーゴスラヴィア Yugoslavia		
	ストニア Estonia	□MNモンゴル Mongolia	□ Z A南アフリカ共和国 South Africa		
	ペイン Spain	□MWマラウイ Malawi			
	ィンランド Finland	□M X メキシコ Mexico	□ Z Mザンピア Zambia		
	国 United Kingdom	□M Z モザンピーク Mozambique	□ Z Wジンバプエ Zimbabwe		
	レナダ Grenada	□NOノルウェーNorway	77 7 7 7 - ZIIIDEDWG		
以下の口	は、この様式の施行後に特許協力条約	の締約国となった国を指定するためのものである。			
□□□□□					
	••••••	□			
投定の確認の	宣告・川原人は トロの均率に加るで 498	J 4.9(b)の規定に基づき、特許協力条約の下で認められるfi	かの今ずの間の協立を行る。(8) は名はは、この中央人		
		は、これらの追加される指定が確認を条件としていること			
なされない岩	定は、この期間の経過時に、出頭人によって	て取り下げられたものとみなされることを含むする。(如う	このでは、 指定を約定する通知の機用と規定生形製み		
e entren as disk	されない指定は、この期間の経過時に、出限人によって取り下げられたものとみなされることを宣言する。(指定の確認は、指定を特定する過知の提出と指定手数料及				

様式PCT/RO/101 (第2用紙) (2002年7月版)

第VI欄 優先権主張				
以下の先の出願に基づく優先権を主張する:				
先の出願日	先の出願番号	先の出願		
(日、月、年)		国内出版: パリ条約同盟国名又は WTO 加盟国名	広域出願: * 広域官庁名	国際出願: 受理官庁名
15.10.02	特願 2002-301069	日本国 JAPAN		
14.01.03	特願 2003-006418	日本国 JAPAN		
(3)				
(4)				
)6)				
他の優先権の主	・ 張(先の出顔)が追記欄に1	L		
	、 <i>本国際出版の受理官庁に対し</i> 特許庁の長官)に対して請求す		下のものについて、出版書類の	認証層本を作成し国際事務局へ送付する
□ すべて □ {	憂先権(1) 優先権(2)	権(4)	その他は追記欄参照
		顔を行った工業所有権の保護のための/		
第●欄 国際間	奎機関			
国際調査機関(記載。)	ISA) の題択 (2	以上の国際調査機関が国際調査を	実施することが可能な場合、	いずれかを選択し二文字コードを
ISA/JP		•••••		
先の調査結果の利用静求;当該調査の服会(先の調査が、国際調査機関によって既に実施又は請求されている場合) 出顧日(日. 月. 年) 出願番号 国名(又は広域官庁名)				
第・欄 申立て				
この出願は以下の申 立てを含む。 <i>(下記の験当する欄をチェックし、右にそれぞれの申立て数を記載)</i> 申立て数				
第VII欄(i) 発明者の特定に関する申立て :				
□ 第VⅢ欄(ii) 出願し及び特許を与えられる国際出願日における :				
第Ⅵ欄(iii) 先の出願の優先権を主張する国際出願日における : 出願人の資格に関する申立て :				
第VII欄(iv)	第VII欄(iv) 発明者である旨の申立て : (米国を指定国とする場合) :			
新四欄(v) 不利にならない開示又は新規性喪失の例外に関する申立 :				

様式PCT/RO/101 (第3用紙) (2001年7月版)

手数料計算用紙の储容参照

	5			
第1X欄 照合欄;出願の首語				
この国際出顔の紙様式の枚数は次のとおりである。 (a) 紙形式での枚数	この国際出版には、以下にチェックしたものが添付されている。 数			
頭客(申立てを含む) 5 枚	The state of the s			
明	☑ 国際事務局の口座への摂込を証明する書面② 2. ☑ 御別の委任状の原本② 2. ☑ 2. ② 2. ② 2. ② 2. ② 2. ② 2. ② 2.			
要約書 1 枚	3.			
(追加的写しは右欄9、(山)に配敷)	本国際出頭の言語: 日本語			
要約者とともに提示する図面: 第1図 本国際出頭の言語: 日本語 第 X 柳 出願人、代理人又は共通の代表者の記名押印 を入の氏を (名称) を記載し、その次に押印する。				
	受理官庁記入欄 2.000			
1. 国際出贸として提出された書類の実際の受理の日				
3. 国際出原として提出された春頃を補完する脅面又は図面であって その後期間内に受理されたものの実際の受理の日(訂正日) 不足図面がある				
4. 特許協力条約第11条 (2) に基づく必要な補充の	柳間内の受理の日			
5. 出願人により特定された 国際関金機関 I S A /	6. 翻査手数料未払いにつき、国際調査機関に 翻室用写しを送付していない。			
配録原本の受理の日:	国際事務局記入欄 ————————————————————————————————————			

様式PCT/RO/101 (最終用紙) (2001年3月版)

明細書

诵信型ナビゲーションシステムにおける入力支援方法ならびに装置

5 技術分野

本発明は、通信型ナビゲーションシステムにおける入力支援方法ならびに 装置に関する。

背景技術

ITS (Intelligent Transport System)の一環として、車輌に搭載されたナビゲーション装置とサーバ装置間でのデータ通信により、地図データを含む各種の有用な情報を車輌のナビゲーション装置へ送信する通信型ナビゲーションシステムが出現しており、注目されている。

ところで上記したナビゲーション装置に対する、例えば、目的地設定、地 15 点検索等のための文字入力は、通常、リモコン、あるいはナビゲーション装 置に付属のタッチパネルを介して行われる。

タッチパネルは、代表的には、画面上に表示されるソフトキーボードを介 してデータが入力されるものである(特許文献1参照)。このソフトキーボー ドの扱いについて、使い勝手の改善をはかるための提案が多数なされており、

20 例えば、「50音検索で入力時に収録データを元に次に来る言葉のみを表示し、 検索の手間を省くもの」、あるいは「名称検索で、一文字入力する毎に、該当 しない50音を薄く表示する、あるいは、一部しか名前がわからなくても部 分一致検索でリストから選択できるもの」等々がある(非特許文献1参照)。

しかしながら、上記した従来技術は、いずれも検索や入力の手間は省けて

Б

10

も、通信型ナビケーションシステムに適用する際に重要な課題となる、通信 時間の節約あるいはトンネルに入る等して通信が途絶したときの対応を考慮 したものではない。

本発明は、サーバ装置で検索を行うためにナビゲーション装置から目的地等に関する1文字以上の文字入力があった場合に、サーバ装置から続く文字候補をダウンロードして得ることによりユーザの入力の手間を省くと共に、サーバ装置からの応答待ちの間に誤ったキー操作を行った場合、あるいは通信が途絶した場合に、サーバ装置からの応答待ち時間を少なくして通信時間の削減をはかり、或いは利用者の入力を活用して快適な入力環境を実現することのできる通信型ナビゲーションシステムにおける入力支援方法ならびに装置を提供することを目的としている。

発明の開示

本発明の通信型ナビゲーションシステムにおける入力支援方法ならびに装置は、ナビゲーション装置から目的地等に関する文字の一部入力があった場合、キャッシュ・メモリに記憶されている入力した文字の次候補と候補数を検索し、該キャッシュ・メモリに記憶されていない場合にサーバ装置に次候補と候補数を送信するように要求を発行する。こうしてダウンロードして得た情報を前記キャッシュ・メモリに記憶することにより、2回目以降の検索20 に当たってサーバ装置からのダウンロードをしなくて済むようする。

また、本発明の通信型ナビゲーションシステムにおける入力支援方法ならびに装置は、ナビゲーション装置から目的地等に関する文字の一部入力があった場合、サーバ装置からその一部に続く文字の候補をダウンロードして得、入力の手間を省いている。また、所定時間文字入力がない場合、もしくは次

候補決定ボタンを操作したときに文字の候補を送信するようにサーバ装置へ 要求を発行する。

更に、サーバ装置から入力文字に続く候補文字の応答待ちの間に新たな文字入力があった場合、入力文字に続く候補文字の応答を無効にする、もしくは、サーバ装置からの応答受信時点における入力文字列が先にサーバ装置に送信した文字列と同じである場合に限りサーバ装置からの応答を有効にする。

これにより、応答待ち時間を少なくして通信時間の削減を図ることができ、 応答待ちの間に誤ったキー操作を行なってもサーバ装置への検索要求が無駄 にならず、結果的に通信待ち時間の削減がはかれる。

10

20

図面の簡単な説明

第1図は、本発明が適用される通信型ナビゲーションシステムのシステム構成図である。

第2図は、第1図に図示の入力支援装置において使用されるタッチパネ 15 ルの表示構成を示す図である。

第3図は、本発明の通信型ナビゲーションシステムにおける入力支援方法ならびに装置を用いて住所検索を行う際の通信モード切替ボタンで、ACM (Auto Connection Mode) がONのときの処理フローチャートを示す図である。

第4図は、本発明の通信型ナピゲーションシステムにおける入力支援方法ならびに装置を用いて住所検索を行う際の通信モード切替ボタンで、ACM (Auto Connection Mode) がOFFのときの処理フローチャートを示す図である。

第5図は、本発明の通信型ナビゲーションシステムにおいて「F」、「A」、

「R」と一文字づつ入力する場合で、かつ、通信状態が安定している場合に おける住所検索を行う場合の処理を示す図である。

第6図は、本発明の通信型ナビゲーションシステムにおいて「FAR」 と入力する場合における住所検索を行う場合の処理を示す図である。

第7図は、本発明の通信型ナビゲーションシステムにおいて「F」、「A」、「R」と一文字づつ入力する場合で、かつ、通信状態が入力文字「A」の時に遅れた場合の処理を示す図である。

第8図は、本発明の通信型ナビゲーションシステムにおいて入力した文字に対してサーバ装置に検索要求を送信した際に、一定時間、サーバ装置から応答がない場合の再送を説明するための図である。

第9図は、本発明の通信型ナビゲーションシステムにおいて 入力した 文字「FAR」の次候補と候補数の検索結果が遅れてサーバ装置から車載端 末に送信されてきたときに、入力を訂正できる場合の処理を説明するための 図である。

15 第10図は、POI (Point of Interest) の検索画面を示す図である。

第11図は、キャッシュ・メモリの内容を消去する画面操作を示す図である。

第12図は、キャッシュ・メモリの内容を表示する図である。

第13図は、本発明の入力支援装置の内部構成を機能展開して示したブロ 20 ック図である。

第14図は、本発明の入力支援装置の動作を説明するために引用した動作 シーケンス図である。

第15図は、本発明の入力支援装置の動作を説明するために引用した動作 シーケンス図である。

15

20

第16図は、本発明の入力支援装置の動作を説明するために引用した動作 シーケンス図である。

発明を実施するための最良の形態

5 第1図には、本発明が適用される通信型ナビゲーションシステムのシステム構成図が示されている。

第1図において、1はナビゲーション装置としての車載端末である。この車載端末1は、CPU等の組み込まれた端末本体11を有している。この端末本体11に装着された不揮発性メモリカードをキャッシュ・メモリ14として用い、更にGPS (Global Positioning System) 12、液晶表示入力装置の前面に座標入力装置が取り付けられた入出力装置13(以下、タッチパネルという)、車速パルス検出装置15等の周辺デバイスが接続されている。なお、キャッシュ・メモリ14は端末本体11の基板上に内蔵されてもよい。

キャッシュ・メモリ14は、検索条件をキーに、検索結果を保持するもので、送信中の問い合わせを憶えておき、端末の入力状態の変化とは独立に問い合わせを行う機能を持っている。すなわち、このキャッシュ・メモリ14は、タッチパネル13を介して入力された情報に基づき一旦サーバー側で検索した結果送信されてくる検索結果を記憶しておいて、再び車載端末1側で行った入力に対して、記憶されている検索結果で対応できる場合は、通信回線を利用してサーバー側に問い合わせを行わないようにする。従って、タッチパネル13から検索条件が入力されると、端末本体11は、直ちにサーバー装置4に通信回線を用いて問い合わせを行わないで済む。端末本体11は、タッチパネル13から検索条件が入力されると、最初に、キャッシュ・メモリ14にアクセスして、入力された検索条件に合う検索結果の問い合わせを

行う。このキャッシュ・メモリ14に検索条件に合う検索結果が無い場合に、端末本体11は、次に、入力された検索条件に合う検索結果の問い合わせをサーバー装置4に通信回線を用いて行うことになる。

第13図は、本発明の端末本体11が備える入力支援装置の内部構成を機能展開して示したプロック図である。本発明の入力支援装置は、第1図に示す車載端末1の端末本体11に実装され、ここでは、入力文字送信部131と、応答無効/有効化制御部132と、再接続処理部133と、応答待ち部134と、属性表示制御部135で構成される。

入力文字送信部131は、ユーザがタッチパネル13を用いて少なくとも 10 1文字入力したときに、次候補文字キー(FIND)操作、もしくは所定時 間毎に入力内容をチェックして変更が無い場合に、サーバ装置4にその入力 文字を送信する機能を持つ。

応答無効/有効化制御部132は、サーパ装置4から先の入力文字に続く候補文字の応答待ちの間に新たな文字入力があった場合、入力文字に続く候補文字の応答を無効にする、もしくは、サーバ装置4からの応答受信時点における入力文字列が先にサーバ装置4に送信した文字列と同じである場合に限り、サーバ装置4からの応答を有効にする機能を持つ。

一方、再接続処理部133と、応答待ち部134は、通信途絶に対応する ために設けられたプロックであり、再接続処理部133は、サーバ装置4か 5入力文字に続く候補文字の応答待ちの間に通信が途絶した場合、この通信 の途絶を検知して再接続を行なう機能を持つ。

また、応答待ち部134は、再接続処理部133による再接続が確立するまでの間に文字入力が行なわれた場合、当該入力された文字列と、先にサーバ装置4に送信した文字列が同じである場合に限り、先の送信結果の応答を

待つ機能を持つ。更に、属性表示制御部135は、サーバ装置4から送信される入力文字に続く候補文字が割り付けられたキーを、画面に表示されるキーボード中の他のキーとは区別して表示する機能を持つ。例えば、色表示、ブリンク表示等による強調表示により次候補文字を他の文字とは区別して表示する。

住所或いは地名に基づく検索を行う場合、タッチパネル13には、第2図 に示す如き表示が行われる。すなわち、タッチパネル13には、どのような エリア (州か、郡か、市か) で入力するのかを示す入力モード1301の表 示と、住所検索を行う際に検索する文字を表示する検索文字列1302の入 力領域と、検索する文字(例えば、都市名)を入力するキーボードに例えた 10 文字入力パネル1304の領域と、この文字入力パネル1304上を押すこ とにより入力した文字列に基づき住所候補を検索するときに、サーバー装置 ・・に対して入力された文字列の送信を指示するための検索要求/候補表示ボタ ン1305とサーバー装置との接続処理に関する通信モード切替ボタン13 06の領域と、サーバー装置に対する検索要求の結果抽出された次文字の候 15 補数を表示する候補数1307の領域と、現在の走行速度を表示する車速1 308と、通信装置2の通信状態として電波強度等をアイコンや動画などの 絵で表示する通信状態1309の領域と、セットアップボタン1310と、 時刻1311が表示される。

20 ここでは、車載端末1から目的地等に関する文字の一部入力があった場合、 サーバ装置4から続く文字の候補をダウンロードして得、候補文字に相当す るキーが強調表示される。第2図の例では、既に入力された"FAR"に続く文 字の候補として"W"または"M"あるいは区切りとしての空白文字'space'か訂 正のための後戻り'BS'が入力動作の候補になることが強調表示により示され ている。この時、通信モードの切り換え処理や候補名の一覧送信要求も指示可能なため、それぞれの入力に対応する'Auto Connection Mode[On]'と'Find/List'のボタン領域も強調表示されている。

2は通信装置であり、端末本体11とはブルートゥース(R)や赤外線等の近距離無線通信により接続される。また、端末本体11と通信装置2との接続にはケーブルを用いても良い。通信装置2としては例えば携帯電話が使用され、IP (Internet Protocol)網3とは図示せぬ無線基地局を介して接続される。車載端末1は、この通信装置2によりIP網3を経由してサーバー装置4と通信を行う。

10 サーバ装置 4 は、サーバ本体 4 1 を有し、このサーバ本体 4 1 には、住所 データベース 4 2、 P O I (Point of Interest) データベース 4 3、地図デ ータベース 4 4、交通情報データベース 4 5 の各種データベースが接続され ている。

住所データベース42は、当該通信型ナビゲーションシステムが使用される地域(国、州等)の住所(国、州、県、郡、市、町)、都市名称と、入力検索項目に対する候補都市名称リストをデータベース化して格納するものである。また、この住所データベース42には、データベースの最終更新日時の確認を行う機能を持っている。すなわち、住所データベース42に記憶されているデータを送信する際に、住所データベース42に記憶されている情報がどの時期のデータであるかを示すデータも合わせて送信する機能を持っている。このデータベースの最終更新日時の確認は、車載端末1の端末本体11に接続されるキャッシュ・メモリ14に保存されているデータを更新する(全ての記憶データを一旦消去すること)時期を決定するのに用いる。

住所データベース42は、さらに、データベース内に存在するデータを元

20

に、入力文字の次の候補を絞り込む機能も備えている。 具体的な例は後述する。

POI (Point of Interest) データベース43は、当該通信型ナビゲーションシステムが使用される地域 (国、州等) のレストラン、駐車場、GS (ガソリンスタンド) のような地点情報や施設情報などの検索対象をデータベース化して格納するものである。POIデータベース43も、住所データベース42と同様、入力文字の次の候補を絞り込む機能も備えている。

地図データベース44は、当該通信型ナビゲーションシステムが使用される地域(国、州等)全体の地図と、道路地図、各地域の詳細な道路地図をデータベース化して収納するものである。

交通情報データベース45は、工事中や事故発生のために通行止め或いは 車線規制になっているとか、イベント開催日で渋滞が激しいなどの交通事情 をデータベース化して格納するものである。

このサーバ装置4は、地図情報を配信する他に、経路誘導のための目的地 15 設定や地点情報検索時等において、対象となる地名或いは施設名称の入力を、 利用者が入力した文字に基づいて前方一致検索、曖昧検索等により、候補文 字を生成して入力支援を行なう。

まず、第14図、第15図、ならびに、第16図により、端末本体11とサーバ装置4の間の処理の概要を説明する。この場合において、都市名の入力に際し、端末本体11は、タッチパネル13からの入力を随時受け付けている。ここでは文字列"A""B""C"が入力されたとする。

まず、第14図の処理において、入力支援装置11は、少なくとも1文字 入力されたときに、FINDキー操作による次候補文字の決定、もしくは所 定時間毎に入力内容をチェックして変更が無い場合に、入力文字送信部13

10

1を介してサーバ装置4に対しその入力文字列(CITY="ABC")を送信する。このことにより、サーバ装置4は、続く文字の候補を検索する。そして、入力支援装置11において応答待ちの間に新たな文字入力(ここでは、ユーザからの "D""E"の入力)があった後に、サーバ装置4から次候補文字が返信されたときには、応答無効/有効化制御部132により先の入力文字列(CITY="ABC")に続く候補文字の応答を無視する。

ここで、サーバ装置4から入力文字に続く候補文字の応答待ちの間にトンネルに入る等して通信が途絶した場合、再接続処理部133は、通信の途絶を検知して再接続を行なうための処理を行なう。再接続が確立するまでの間に文字入力が行なわれた場合、図15と図16とは、処理が異なる。まず、図15に示すように、当該入力された文字列と、先にサーバ装置4に送信した文字列が同じである場合("ABC"="ABC")は、応答待ち部134が、先の送信結果の応答を待ち、有効とする。

一方、図16に示すように、ユーザの入力した文字列が先にサーバ装置4に送信した文字列と異なる場合("ABC"と"ABCDE")は、サーバ装置4の応答結果を無視する処理に移行する。なお、サーバ装置4から応答のあった次候補文字列は、車載端末1のタッチパネル13(LCD)に表示されるが、その際に、次候補文字が割り付けられたキーを、画面に表示されるキーボード中の他のキーとは区別して表示する。例えば、色表示、ブリンク表のことにより、ユーザが確定のために選択する際の操作性の向上がはかれる。また、図16に示されるように、通信が途絶しないケースにおいても、サーバ装置4からの応答を待つ間にユーザが文字入力を行った場合("D"、"E")は、サーバ装置4からの応答を得つ間にユーザが文字入力を行った場合("D"、"E")は、サーバ装置4からの応答受信時点における入力文字列が、先にサーバ

20

装置4に送信した文字列と同じである場合に、応答無効/有効化制御部13 2の有効化制御部がサーバ装置4からの応答を有効とし、同じでなければ応 答無効/有効化制御部132の無効化制御部により無視される。

以上、第14図~第16図に示すようなユーザによる入力文字列とサーバ 装置4によって返答される次文字候補との組を、車載端末1が履歴情報として保持し、次回以降にその履歴情報を活用して文字入力支援を行う構成としてもよい。

すなわち、車載端末1は、ユーザに入力文字列をキーとして履歴情報から検索し、その履歴情報が入力文字列と同じ文字列を含む場合はその履歴情報 10 にある次文字候補を回答し、含まない場合は、サーバ装置4にユーザによる 入力文字列を送信し、サーバ装置4で検索を行う。

このことにより、入力文字列と同じ文字列はサーバ装置4に送信されずに 済むため、検索回答に要する通信時間を短縮することができ、また、車載端 末1とサーバ装置4との間の通信が一時的に途絶しても検索結果を返信する ことができる。

以上説明のように本発明は、ナビゲーション装置から目的地等に関する1 以上の文字入力があった場合に、サーバ装置から、続く文字候補をダウロー ドして得ることによりユーザの入力の手間を省くと共に、サーバ装置からの 応答待ちの間に誤ったキー操作を行った場合、あるいは通信が途絶した場合 に、サーバ装置からの応答待ち時間を極力少なくして通信時間の削減をはか るものである。

先行検索を行う処理のうち、入力文字列を自動修正しない処理の場合には、確定文字が"FARMINGTO"の9文字の際に、次の"N"がユーザによって訂正されると、更に次候補文字"H,O"が、サーバ装置4から送られてくる。その

ため、実質 2 文字分の候補が送られてきていることになり、次候補文字"H,O"に該当するキーがユーザから入力される迄は、車載端末 1 は、キーロックを解除しない。以上の処理により、車載端末 1 は、入力文字列を自動修正しないので、ユーザに戸惑うことなく操作させることができる。

5 第3図は、本発明の通信型ナビゲーションシステムにおける入力支援方法ならびに装置を用いて住所検索を行う際の通信モード切替ボタン1306で、ACM(Auto Connection Mode)がONのときの処理フローチャートである。本発明による通信型ナビゲーションシステムでは、地名・都市名で地点を検索する際には、タッチパネル13により利用者が入力した文字を通信装置2を介してサーバ装置4に送信し、このサーバ装置4は検索結果を車載端末に応答する。この時、サーバ装置から返ってくる検索結果を再利用するために、車載端末1では不揮発性メモリなどの記憶装置で実現されるキャッシュ14にこの検索結果を保持しておき、以降の地点検索の際に参照する。

ACMがUNC状態では、検索のため車載端末1に入力された文字が各入 15 力毎にサーバ装置4へ送信されるのに対し、ACMがOFFの状態では、車 載端末1に入力された文字は一時配憶されており、検索要求/候補表示ポタ ン1305を押すことによりサーバ装置4へ送信される。

第3図で、住所検索を行う際には、最初に文字入力パネル1304の領域がすべて強調表示され、全文字が入力可能な状態にして、ユーザの文字入力20 待ちの状態になる。そしてステップ1101において、ユーザがタッチパネル13上の文字入力パネル1304に文字を入力すると、検索文字列1302の表示を変更して入力された文字をエコーバックし、文字入力パネル1304は一旦全文字入力可能状態とする。これは後述するようにサーバ装置4との通信に障害が発生した場合でも、ユーザが検索文字を先行入力できるよ

うにするためである。このステップ1101において全文字入力可能状態とすると、ステップ1102において、キャッシュ・メモリ14から、第2図に図示の入力モード1301、検索文字列1302、検索条件1303の組み合わせによる検索キーに対応する以前の検索結果を取り出す。第2図の例では、入力モードが「都市名入力」で、検索文字列は"FAR"、検索条件は「検索エリアが州でMI(ミシガン州)」となり、「ミシガン州の都市で"FAR"で始まる場所」という意味の検索キーを表している。この時ステップ1103において、キャッシュ・メモリ14内に検索キーに対応する検索結果が保持されているか否かの判定を行う。このステップ1103においてキャッシュ・メモリ14内に以前の検索結果が保持されていないと判定すると、ステップ1104において、通信装置2を介し、サーバ装置4に対して検索要求を出す。

このステップ1104においてサーバ装置4に対して検索要求を出すと、ステップ1105において、サーバ装置4から検索結果(次候補文字、DB 更新日時、候補数、候補リスト)が帰って来たか否かの判定を行う。すなわち、このステップ1105においては、サーバ装置4から検索結果の応答が帰って来るのを待つ。このステップ1105においてサーバ装置4から検索結果が帰って来たと判定すると、ステップ1106において、ステップ1105においてサーバ装置4から検索 結果が帰って来たと判定すると、ステップ1106において、ステップ1105においてサーバ装置4から帰って来た検索結果のDB更新日時がキャッ シュ・メモリ14内のものと同じか否かの判定を行う。なお、サーバ装置からの応答が一定時間経過しても無い場合の処理については後述する。

このDB更新日時とは、車載端末1から送られた検索キーの検索条件に該当するエリアの住所データベースが最後に更新された日時の情報である。また候補数と候補リストは、検索条件に該当するエリアで検索文字列により絞

'キーを入力可能とする。

り込まれた都市の数とその都市名のリスト、そして次候補文字は候補リストから抽出された検索文字列に続く文字、即ち現在の入力モードの下で次の入力 力候補となる文字を並べた文字列である。

このステップ1106において、サーバ装置4から帰って来た検索結果の

DB更新日時がキャッシュ・メモリ14内のものと同じでなく新しいと判定
すると、ステップ1107において、キャッシュ・メモリ14内の古いキャッシュデータを削除する。この場合、キャッシュ・メモリ14の内容を全て
削除しても良いが、できるだけキャッシュの内容を残すために、検索キーの
内、入力モード1301と検索条件1303に関して一致するものを削除す

ることも考えられる。更には、入力モード1301と検索条件1303に関して一致するもののうち、検索文字列で始まるものに絞って削除することも
考えられる。また、このステップ1106において、サーバ装置4から帰って来た検索結果のDB更新日時がキャッシュ・メモリ14内のものと同じであると判定すると、ステップ1108において、キャッシュ・メモリ14に、
「検索キー」、「検索結果」、「DB更新日時」を対応付けて登録し、ステップ

また、ステップ1103においてキャッシュ・メモリ14内に結果が保持されていると判定された場合もステップ1109に移る。ステップ1109において、キャッシュメモリ14から読み出された検索結果、あるいはサーバ装置41から送られてきた検索結果に基づき、文字入力パネル1304のうち次候補文字列に対応する領域を強調表示させて、この次候補文字と'BS

1109に移る。ここで「検索結果」は、サーバ装置41から送られてきた

第4図は、本発明の通信型ナビゲーションシステムにおける入力支援方法

検索結果のうち、少なくとも次候補文字と候補数である。

10

15

ならびに装置を用いて住所検索を行う際の通信モード切替ボタン1306で、ACM (Auto Connection Mode) がOFFのときの処理フローチャートである。ACM (Auto Connection Mode) がOFFの時には、検索文字列の入力とサーバ装置への検索要求が非同期に行われるため、フローチャートは大きく2つの部分に分かれているが、基本的な処理は第3図のフローチャートと同様である。

第4図では第3図のフローチャートの場合と同様に、住所検索を行う際には、最初に文字入力パネル1304の領域が全て強調表示され、全文字が入力可能な状態にして、ユーザの文字入力待ちの状態になる。そして、ステップ1201において、ユーザが文字入力パネル1304に文字を入力すると、この入力された文字を検索文字列1302にエコーバックして表示を変更し、全文字入力可能状態とする。次に第3図のステップ1102と同様に、ステップ1202において、キャッシュ・メモリ14から検索キー(第2図に図示の入力モード1301、検索文字列1302、検索条件1303)に対応する結果を取り出す。

この時、ステップ1203において、キャッシュ・メモリ14内に以前の 検索結果が保持されているか否かの判定を行う。この判定によりキャッシュ・メモリ14内に以前の検索結果が保持されていると判定すると、ステップ1211に移る。

20 また、このステップ1203においてキャッシュ・メモリ14内に以前の 検索結果が保持されていないと判定すると、ステップ1204において、第 2図に図示の文字入力パネル1304全てを強調表示した上で、全ての文字 が入力可能な状態に変更する。この様にして検索文字列入力時にはいつでも 任意の文字が入力できる状態に維持される。そして、検索要求/候補表示ボ タン1305が押されるまではユーザが入力した検索文字列は検索文字列1302の表示に反映されるが、サーバ装置に送信されずに一時的に記憶されている。

少なくとも1文字以上の検索文字列が入力された状態で検索要求/候補表 示ボタン1305が押されることにより、ステップ1205からの処理が開始される。ステップ1205において、ユーザが文字入力パネル1304に文字を入力した後"Find/List"の検索要求/候補表示ボタン1305を押すと、検索キー(第2図に図示の入力モード1301、検索文字列1302、検索条件1303)に基づく検索要求を生成し、全文字入力可能状 態とする。これも後述するようなサーバ装置4からの応答を待たずに、ユーザが検索文字を先行入力できるようにするためである。次に、ステップ1206において、通信装置2を介し、生成した検索要求をサーバ装置4に送信する。

サーバ装置4に対して検索要求を送信すると、ステップ1207において、 第1図に図示のサーバ装置4から検索結果(次候補文字、DB更新日時、候 補数、候補リスト)が帰って来たか否かの判定を行う。すなわち、このステ ップ1207においては、サーバ装置4からの検索結果が帰って来るのを待 つ。このステップ1207においてサーバ装置4から検索結果が帰って来た と判定すると、ステップ1208において、ステップ1207においてサー バ装置4から帰って来た検索結果のDB更新日時がキャッシュ・メモリ14 内のものと同じか否かの判定を行う。ここでの「検索結果」も前述の様に、 サーバ装置41から送られてきた検索結果のうち少なくとも次候補文字と候 補数である。

このステップ1208において、サーパ装置4から帰って来た検索結果の

DB更新日時がキャッシュ・メモリ14内のものと同じでないと判定すると、ステップ1209において、第3図のステップ1107と同様にキャッシュ・メモリ14内の古いキャッシュデータを削除する。また、このステップ1208において、サーバ装置4から帰って来た検索結果のDB更新日時がキャッシュ・メモリ14内のものと同じであると判定すると、ステップ1210において、キャッシュ・メモリ14に、「検索キー」、「検索結果」、「DB更新日時」を対応付けて登録する。

このステップ1210において、キャッシュメモリ14の更新を行うか、ステップ1203においてキャッシュ・メモリ14内に以前の検索結果が保10 持されていると判定された場合には、ステップ1211において、キャッシュメモリ14から読み出された検索結果、あるいはサーバ装置41から送られてきた検索結果に基づき、文字入力パネル1304のうち次候補文字列に対応する領域を強調表示させ、この次候補文字と'BS'キーを入力可能とする。

次に、目的地設定のための住所である都市名(CITY)を入力するケー 15 スを例に、住所検索を行う場合の処理について、第5図~第9図を参照して 具体的に説明する。

第5図は、ACM (Auto Connection Mode) がONの時に「F」、「A」、「R」と一文字づつ入力する場合で、かつ、通信状態が安定している場合における住所検索を行う場合の処理である。

20 まず、都市名の入力に際し、車載端末1の端末本体11では、タッチパネル13によるユーザからの文字入力を随時受け付けている。ここでは文字列"F""A""R"が続いて入力されるものとする。

いま、ユーザが第2図に図示の文字入力パネル1304に最初の文字「F」を入力すると、第2図に図示の検索文字列1302の表示を変更し、検索文

字列1302に「F」を表示する。そして車載端末1の端末本体11は、キ ャッシュ・メモリ14から検索キー(第2図に図示の入力モード1301、 検索文字列1302、検索条件1303)に対応する結果を取り出す。すな わち、車載端末1の端末本体11は、入力モードが都市名 (CITY)で、 検索文字列1302に表示された文字「F」による検索結果がキャッシュ・ メモリ14中に記録されているか調べる。最初はキャッシュメモリ14に以 前の検索結果が、記録されていないため、端末本体11は通信装置2を介し てサーバ本体41に検索文字列「F」での検索を要求する。なお、図でCI TY="F"は、検索文字列が"F"で始まる都市名という検索キーを表してい る。この検索要求の結果、サーバー本体41からは"CITY=F, NEXT 10 __CHAR=ABCD....、ヒット数=100"という検索結果が返ってくる ものとする。なお、以下の説明ではDB更新日時についての説明と図示は省 略する。ここで、"CITY=F"は"F"で始まる都市名の検索結果であるこ とを意味し、"NEXT_CHAR=ABCD.... "は、候補文字列が"AB CD.... "であることを意味し、"ヒット数=100"は、候補数が100個 15 であることを表している。この検索結果はキャッシュ・メモリ14に一旦登 録され、都市名検索文字列「F」の次候補(A, B, C・・・・)と、候補 数(100)がCITY="F"の検索結果として得られる。そしてこの検索 結果を第2図に図示の文字入力パネル1304に反映させ、次候補文字を入 力可能とする。すなわち、検索する文字(例えば、都市名)を入力する文字 20 入力パネル1304には、「F」の次候補(A,B,C・・・・)と入力文字 列修正のための'BS'キーが投入可能となり、他の文字のキーは誤入力を防ぐ ためにロックされる。なお、以下の説明では、検索条件1303については 固定されているものとして説明は省略するが、キャッシュメモリ14を検索

15

する際の検索キーの一致判定やサーバ装置4における名称検索の場合には検 索キーの一部として使用される。

車載端末1の端末本体11によって、検索文字列1302に表示された文字「F」の次候補(例えば、A, B, C・・・・)と、候補数(例えば、100)を取り出し、検索結果を文字入力パネル1304に表示し、次候補文字を入力可能とすると、ユーザは、文字入力パネル1304に次候補の文字「A」を入力する。

ユーザが文字入力パネル1304から文字「A」を入力すると、検索文字 列1302の表示が変更されて検索文字列1302に「FA」を表示する。

- 10 この文字入力パネル1304から文字「A」が入力されると、車載端末1の端末本体11は、キャッシュ・メモリ14から入力モード1301、検索文字列1302、検索条件1303の組み合わせによる検索キーに対応する過去の検索結果を取り出す。ここでキャッシュ・メモリ14に検索キーと一致する過去の検索結果が登録されている場合には、車載端末1の端末本体11
 - は、検索文字列1302に表示された文字「FA」の次候補(例えば、A,E,I・・・・)と、候補数(例えば、50)を取り出し、検索結果を文字入力パネル1304に反映させる。そして、検索する文字(例えば、都市名)を入力する文字入力パネル1304には、「FA」の次候補(例えば、A,E,I・・・・)が投入可能となり、他の文字のキーはロックされる。
- 20 一方、キャッシュ・メモリ14内に問い合わせの結果が保持されていない場合は、車載端末1の端末本体11を駆動し、通信装置2を介してサーバ装置4のサーバ本体41に対して検索要求を送信する。

このサーバ装置 4 に対して問い合わせた検索要求に対する検索結果(次候補A, E, I・・・と、候補数 5 0)を車載端末1の端末本体11が受信し、

この検索結果は、文字入力パネル1304に表示すると共にキャッシュ・メモリ14内に登録する。

そして車載端末1の端末本体11は、検索文字列1302に表示された文字「FA」の次候補(例えば、A, E, I・・・・)と、候補数(例えば、50)を取り出し、検索結果を文字入力パネル1304に表示し、次候補文字を入力可能とすると、ユーザからの入力を待つ。

ユーザが文字入力パネル1304から文字「R」を入力すると、検索文字列1302の表示を変更し、検索文字列1302に「FAR」を表示する。文字入力パネル1304から文字「R」が入力されると、車載端末1の端末

10 本体11は、前述のごとくキャッシュ・メモリ14から入力モード1301、検索文字列1302、検索条件1303の組み合わせによる検索キーに対応する以前の検索結果を取り出す。ここでキャッシュ・メモリ14に検索キーと一致する過去の検索結果が登録されている場合には、車載端末1の端末本体11は、検索文字列1302に表示された文字「FAR」の次候補(例えば、M,W,・・・・)と、候補数(例えば、10)を取り出し、検索結果を文字入力パネル1304に反映させる。そして、検索する文字(例えば、都市名)を入力する文字入力パネル1304には、「FAR」の次候補(例えば、M,W,・・・・)が投入可能となり、他の文字のキーはロックされる。

一方、第1図に図示のキャッシュ・メモリ14内に問い合わせの結果が保 20 持されていない場合は、車載端末1の端末本体11を駆動し、通信装置2を 介して、サーバ装置4のサーバ本体41に対して検索要求を送信する。

このサーバ装置4に対して問い合わせた検索要求に対する検索結果(次候補M,W,・・・と、候補数10)を車載端末1の端末本体11が受信し、この検索結果は、文字入力パネル1304に表示すると共に第1図に図示のキ

ャッシュ・メモリ14内に登録する。

次に、「FAR」と入力した後、BSボタン(一文字削除ボタン)を押した場合の処理について第6図を用いて説明する。

第6図は、「FAR」と入力する場合における住所検索を行う場合の処理で ある。いま、ユーザが文字入力パネル1304に文字「FAR」を入力する と、検索文字列1302の表示を変更し、検索文字列1302に「FAR」 を表示する。この文字入力パネル1304から文字「FAR」が入力される と、車載端末1の端末本体11は、キャッシュ・メモリ14から入力モード 1301、検索文字列1302、検索条件1303の組み合わせによる検索 キーに対応する結果を取り出す。すなわち、車載端末1の端末本体11は、 10 検索文字列1302に表示された文字「FAR」の問い合わせを行うと、既 にサーバ装置4に対して問い合わせた結果得られた検索結果に基づいて、検 索文字列「F」と「FA」は登録されているが、「FAR」は登録されていな いことがわかる。そこで、「FAR」の次候補と候補数については、車載端末 1の端末本体11は通信装置2を介し、サーバ装置4のサーバ本体41に対 15 して検索文字列「FAR」に関する検索要求を送信し、サーバ装置4に対し て問い合わせた検索要求に対する検索結果 (例えば、次候補M, W,・・・と、 候補数10)が得られると、文字入力パネル1304に表示され、キャッシ ュ・メモリ14内に登録される。

20 その後、第2図に図示のBSボタンが投入され、検索文字列1302に表示されている文字「FAR」の「R」が削除されて検索文字列1302の表示が「FA」となると、車載端末1の端末本体11は、検索文字列が更新されたことを契機にキャッシュ・メモリ14に検索キーに対応する過去の検索結果の問い合わせを行う。この場合、キャッシュ・メモリ14には、既に登

録されているサーバ装置 4 に対する問い合わせの検索結果、「F」の次候補(A,B,C・・・・)と候補数(1 0 0)、「FA」の次候補(A,E,I・・・・)と候補数(5 0)、「FAR」の次候補(M,W,・・・・)と候補数(1 0)が登録されているため、「FA」の検索結果として「FA」の次候補(A,E,

5 I・・・・)と候補数 (50) が得られ、これを文字入力パネル1304に 表示する。

このように車載端末1側にキャッシュ・メモリ14を設けることにより、 検索文字列可更新される都度、サーバ装置4のサーバ本体41に対して検索 要求を送信しなくても検索結果を表示することができ、通信回数を減らすこ 10 とができると共に、既にキャッシュメモリに登録されている検索結果につい ては通信を行う場合に比べて検索結果を早期に表示することができるため、 利用者のイライラや焦燥感を緩和することが出来る。

第7図は、「F」、「A」、「R」と一文字づつ入力する場合で、かつ、入力文字「A」の時に通信遅延が発生した場合の処理である。主な処理は第5図に 元した場合と同様であるが、ここで発生した通信遅延により検索結果のキャッシュメモリ14に対する登録と文字入力パネル1304の表示処理が一部変更されている。

ユーザが文字入力パネル1304に文字「A」を入力するまでは第5図の 説明と同じであるため、ここでは説明を省略する。

20 ユーザが文字入カパネル1304に文字「A」を入力すると、検索文字列 1302の表示が変更されて検索文字列1302に「FA」が表示される。 この文字入カパネル1304からの文字「A」の入力により、車載端末1の 端末本体11は、キャッシュ・メモリ14内に「FA」の次候補と候補数に ついて問い合わせを行い、結果が保持されていない場合は、車載端末1の端

15

20

末本体 1 1 を駆動し、通信装置 2 を介し、サーバ装置 4 のサーバ本体 4 1 に対して検索要求を送信する。

この文字「A」を入力し、検索文字列1302の表示「FA」の時にサーバ装置4のサーバ本体41からの検索結果の受信が遅れた場合などは、検索結果が返ってくるまでは全文字が入力可能であるため、サーバ装置4のサーバ本体41からの検索結果が受信される前にユーザが文字入力パネル1304から次の文字を入力してしまうことが考えられる。この実施例の場合、更に文字「R」が入力されると、端末本体11は検索文字列1302の表示を変更し、検索文字列1302に「FAR」を表示する。この文字入力パネル1304からの新たな文字入力により、車載端末1の端末本体11は、図示のキャッシュ・メモリ14内に「FAR」の次候補と候補数について問い合わせを行い、結果が保持されていない場合は、車載端末1の端末本体11を駆動し、先のサーバ装置4のサーバ本体41に対する検索要求の応答を待たずに、通信装置2を介してサーバ装置4のサーバ本体41に対して新たな検索要求を送信する。

文字「FAR」について、通信装置2を介してサーバ装置4のサーバ本体41に対する検索要求が送信され、何らかの理由で検索文字列1302の表示「FA」の時にサーバ装置4のサーバ本体41からの検索結果の受信が遅れて、検索文字列1302の表示「FA」の検索結果がサーバ装置4のサーバ本体41から受信がされる前に検索文字列1302の表示「FAR」の検索結果がサーバ装置4のサーバ本体41から送信されてくることがある。この場合は、「FAR」の検索結果、「FAR」の次候補(M, W,・・・・)と候補数(10)が、まずキャッシュメモリ14に登録され、その検索結果が文字入力パネル1304等に反映される。次いで受信された「FA」の検索

結果、「FA」の次候補(A, E, I・・・・)と候補数(50)はキャッシュ・メモリ14内に登録されるだけとなり、文字入力パネル1304等の表示に反映されない。

次に、入力した文字に対して、車載端末1の端末本体11を駆動し、通信装置2を介し、サーバ装置4のサーバ本体41に検索要求を送信した際に、 一定時間、サーバ装置4のサーバ本体41から応答がない場合の再送につい て第8図を用いて説明する。

いま、ユーザが文字入力パネル1304に文字「FA」を入力すると、車 載端末1の端末本体11は検索文字列1302に「FA」を表示した後、キ 10 ャッシュ・メモリ14に検索キーに対応する結果の問い合わせを行う。この とき、キャッシュ・メモリ14に文字「F」の次候補(A, B, C・・・・) と、候補数(100)のデータが有っても、検索文字列1302に表示した 文字「FA」の次候補と候補数のデータが保持されていない場合は、車載端 末1の端末本体11は通信装置2を介し、サーバ装置4のサーバ本体41に 対して文字「FA」の次候補と候補数の検索要求を送信する。

文字「FA」の次候補と候補数のデータの検索要求をサーバ装置4のサーバ本体41に対して行った後、通信遅延により、サーバ装置4のサーバ本体41からの応答が遅れて、予め設定してある時間(タイムアウト時間)が経過すると、再度、車載端末1の端末本体11は通信装置2を介し、サーバ装置4のサーバ本体41に対して文字「FA」の次候補と候補数の検索要求を送信する。このタイムアウト時間は、通信状態1308、車速1309などから動的に決め、車速が速かったり電界強度が弱いなど通信環境が悪化している場合にはタイムアウト時間を長く取るようになっている。

その後、タイムアウト時間になる前にサーバ装置4に対して問い合わせた

検索要求に対する検索結果(次候補A, E, I・・・と、候補数50)が、サーバ装置4のサーパ本体41から車載端末1の端末本体11に送信されてくると、この送信されてきた検索結果は、文字入力パネル1304に表示すると共にキャッシュ・メモリ14内に登録する。すなわち、検索する文字(都市名)を入力する文字入力パネル1304には、「FA」の次候補(A, E, I・・・・)が投入可能となり、他の文字のキーはロックされる。

この文字「FA」の次候補と候補数の再度(2回目)のサーバ装置4のサーバ本体41に対する検索要求に対する検索結果(次候補A, E, I・・・と、候補数50)が、サーバ装置4のサーバ本体41から車載端末1の端末10 本体11に送信されてきた後に、最初(1回目)の文字「FA」の次候補と候補数のデータの検索要求に対する検索結果(次候補A, E, I・・・と、候補数50)が、通信遅延によりサーバ装置4のサーバ本体41からの2度目の応答に遅れて車載端末1の端末本体11に送信されてきた場合は、既に文字「FA」の次候補と候補数のデータの検索要求に対する検索結果(次候14A, E, I・・・と、候補数50)は、キャッシュ・メモリ14内に登録されているので、遅れて送信されてきた文字「FA」の次候補と候補数の検索結果はキャッシュ・メモリ14内に登録せずに破棄される。

次に、入力した文字「FAR」の次候補と候補数の検索結果が遅れてサーバ装置4のサーバ本体41から車載端末1の端末本体11に送信されてきたときに、入力を訂正できる場合の処理について第9図を用いて説明する。

いま、ユーザが文字入力パネル1304から文字「FAR」を入力し、検索文字列1302に「FAR」を表示した後、車載端末1の端末本体11は、図示のキャッシュ・メモリ14に検索キーに対応する結果の問い合わせを行う。このとき、キャッシュ・メモリ14に文字「F」の次候補(A,B,C・・・・)

10

15

と候補数(100)のデータ、文字「FA」の次候補(例えば、A,E,I・・・)と候補数(例えば、50)のデータが有っても検索文字列1302に表示した文字「FAR」の次候補と候補数のデータが保持されていない場合は、車載端末1の端末本体11は通信装置2を介し、サーバ装置4のサーバ本体41に対して文字「FAR」の次候補と候補数の検索要求を送信する。

文字「FAR」の次候補と候補数のデータの検索要求をサーバ装置4のサーバ本体41に対して行った後、通信遅延により、サーバ装置4のサーバ本体41からの応答が遅れた間に、ユーザが、文字入力パネル1304から更に文字「NINTOM」を入力した場合、車載端末1の端末本体11は通信装置2を介し、サーバ装置4のサーバ本体41に対して、結果として入力された検索文字列「FARNINTOM」の検索要求を送信する。

その後、検索文字列「FARNINTOM」の検索要求に対する検索結果 応答の有無に関わらず、通信遅延により、サーバ装置 4 のサーバ本体 4 1 からの応答が遅れていた文字「FAR」の次候補と候補数のデータの検索要求 に対する検索結果が送信されてくると、送信されてきた文字「FAR」の次候補 (M, W,・・・・) と、候補数 (10)の検索結果は、第2図に図示の文字入力パネル1304に表示する。この第2図に図示の文字入力パネル1304へ表示すると共に第1図に図示のキャッシュ・メモリ14内に登録する。

20 これはユーザが入力した文字「FARNINTOM」で、文字「FAR」の次候補(例えば、M, W,・・・・)に「N」が含まれていないため、一旦入力した文字「FARNINTOM」を文字「FAR」まで戻すためである。 既に入力された文字列「FARNINTOM」を次候補が存在する正しい文字列「FAR」まで戻して検索文字列1302に「FAR」と表示された状 態となる。

これまでは地名検索を例に説明を行ってきたが、第10図には、POI(Point of Interest) による検索画面が示されている。

第10図において、POI(Point of Interest)は、当該通信型ナビゲー ションシステムが使用される地域(国、州等)のレストラン、駐車場、GS (ガソリンスタンド)情報である。

POI検索におけるタッチパネル13は、第10図に示す如き表示構成を 有している。すなわち、タッチパネル13には、検索するPOIの条件(例 えば、レストラン名)を示すPOI入力モード1311と、住所検索を行う 際に検索する文字を表示するPOI検索文字列1312と、どのようなエリ 10 ア (州か、郡か、市か) で入力するのかを設定するPOI検索条件1313 と、文字を入力するための文字入力パネル1314と、入力した文字列に対 する住所候補を検索したいときに入力する検索要求/候補表示ボタン131 5と、通信モード切替ボタン1316と、検索要求して検索結果出てきた次 文字の候補数を表示する候補数1317と、現在の走行速度を表示する車速 15 1318と、 通信装置 2 の通信状態として電波強度等をアイコンや動画など の絵で表示する通信状態1319と、時刻1330が表示される。このうち、 POI検索条件1313では、POIの検索対象エリアとして州名、都市名、 また緯度経度情報と検索エリアの半径を制定できる。更に検索するPOIの ジャンル・分類・分野を指定することも出来る。 20

ここでは、車載端末1から目的地等に関する文字の一部入力があった場合、 サーバ装置4から続く文字の候補をダウンロードして得、候補文字に相当す るキーが色表示されることとする。

第11図には、キャッシュ・メモリ14の内容を消去する画面操作が示さ

れている。キャッシュメモリ14の内容はサーバ装置のデータベースの更新によって無効なものとなる場合がある。しかし、データベースの更新はサーバ装置と通信を行わないと知ることが出来ない。そのため、Auto Connection Mode がOFFになっている場合などには無効となったキャッシュメモリの内容を使用してしまう恐れがある。そこで、このキャッシュメモリの内容をマニュアル指示でクリアすることにより誤った検索結果を避けるためのボタンがセットアップボタンである。

第2図において、タッチパネル13のセットアップボタン1310を押すと、タッチパネル13には、第11図に示すようなセットアップモード画面 が表示され、各種のセットアップ表示ができるようになっている。スクロールバー1340を操作すると、セットアップモード画面の各種ボタンが上下してキャッシュ・メモリ14の内容を消去するキャッシュ消去ボタン134 1が表示できる。

第11図に表示されている1342は通信状態、1343は現在表示され 15 ているセットアップモードを前画面に戻すためのバックボタン、1344は 時刻である。

第11図で、キャッシュ消去ボタン1341を押すと、タッチパネル13には、セットアップモードで各種セットアップボタンの表示された上に「キャッシュ消去」の表示と共に、「Really? (よろしいですか?)」という表示20 がなされ、「YES」を選択すると、キャッシュ・メモリ14の内容が消去される。また、「NO」を選択すると、キャッシュ・メモリ14の内容は消去されず、セットアップモードで各種セットアップボタンが表示された状態の画面に戻る。

第12図は、住所検索の絞込み処理の結果、候補が絞り込めた時の表示例

である。入力モード1301、検索文字列1302、検索条件1303に対応する結果が、例えばFARMINGTONとFARMINGTON HILLSの2件の場合、第12図のように確定候補表示エリア1314に表示される。画面に表示しきれない場合はスクロールバー1313によりスクロールさせることが可能である。このような絞りこみ後の候補は、キャッシュ・メモリ14に保存される。

産業上の利用可能性

本発明は、車両を誘導する装置に用いた場合、通信時間を短くし、応答性 10 を早くすることができる。

請求の範囲

1. ナビゲーション装置とサーバ装置が通信網を介して接続される通信型ナビゲーションシステムにおける入力支援方法であって、

前記ナビゲーション装置に設けられたキャッシュ・メモリ前記通信網を介 5 して前記サーバ装置から得られた入力文字列に関する次候補と候補数を収納 する第1のステップと、

少なくとも入力文字列が更新されたときに、前記キャッシュ・メモリで次 候補と候補数を検索する第2のステップと、

前記キャッシュ・メモリに前記入力した文字に基づく次候補と候補数が収 10 納されていない場合に前記サーバ装置にその入力文字を送信する第3のステップと、

を備えたことを特徴とする通信型ナビゲーションシステムにおける入力支援方法。

2. ナビゲーション装置とサーバ装置が通信網を介して接続される通信型 15 ナビゲーションシステムにおける入力支援方法であって、

前記ナピゲーション装置にキャッシュ・メモリを設け、該キャッシュ・メモリに前記通信網を介して前記サーバ装置から得られた次候補と候補数を収納する第1のステップと、

前記サーバ装置から前記入力文字に続く候補文字の応答に代えてその文字 20 入力を取り込む第4のステップと、

前記入力文字の表示を訂正して表示する第5のステップと、

を備えたことを特徴とする請求の範囲第1項に記載の通信型ナビゲーションシステムにおける入力支援方法。

3. ナビゲーション装置とサーバ装置が通信網を介して接続される通信型

ナビゲーションシステムにおける入力支援方法であって、

前記サーバ装置から前記入力文字に続く候補文字の応答が所定時間内になかったときに前記入力した文字に基づく次候補と候補数の検索を再度前記サーバ装置に送信する第6のステップを加えたことを特徴とする請求の範囲第1項に記載の通信型ナビゲーションシステムにおける入力支援方法。

4. ナビゲーション装置とサーバ装置が通信網を介して接続される通信型 ナビゲーションシステムにおける入力支援方法であって、

前記サーバ装置からの前記入力文字に続く候補文字と候補数の応答が通信 遅延によって遅れて送信されたときに応答される前記入力文字に続く候補文 10 字と候補数のデータを前記キャッシュ・メモリに収納する第7のステップを 加えたことを特徴とする請求の範囲第1項に記載の通信型ナビゲーションシ ステムにおける入力支援方法。

- 5. ナビゲーション装置とサーバ装置が通信網を介して接続される通信型 ナビゲーションシステムにおける入力支援方法であって、
- 15 前記サーバ装置からの前記入力文字に続く候補文字と候補数の応答に基づき、既に次候補文字として入力した文字の訂正を行う第8のステップを加えたことを特徴とする請求の範囲第1項に記載の通信型ナビゲーションシステムにおける入力支援方法。
- 6. ナビゲーション装置とサーバ装置が通信網を介して接続される通信型 20 ナビゲーションシステムにおける入力支援方法であって、

前記ナビゲーション装置は、住所検索を行うものである請求の範囲第1項 に記載の通信型ナビゲーションシステムにおける入力支援方法。

7. ナビゲーション装置とサーバ装置が通信網を介して接続される通信型 ナビゲーションシステムにおける入力支援方法であって、 前記ナビゲーション装置は、POI検索を行うものである請求の範囲第1項に記載の通信型ナビゲーションシステムにおける入力支援方法。

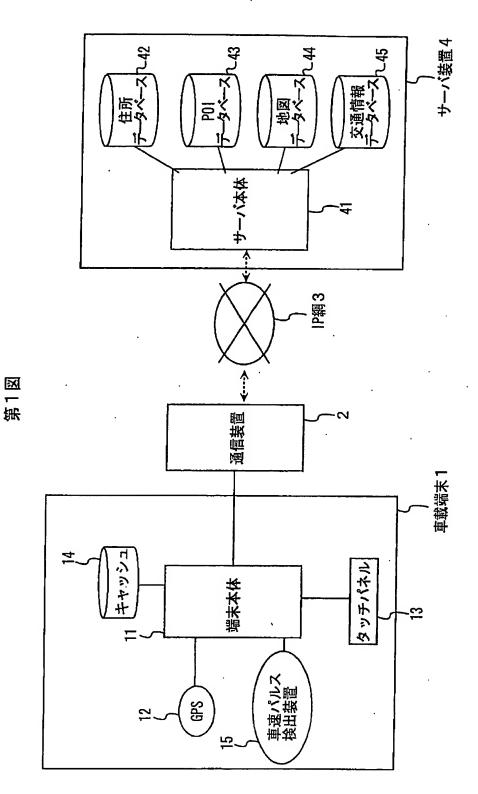
5

要り 約 書

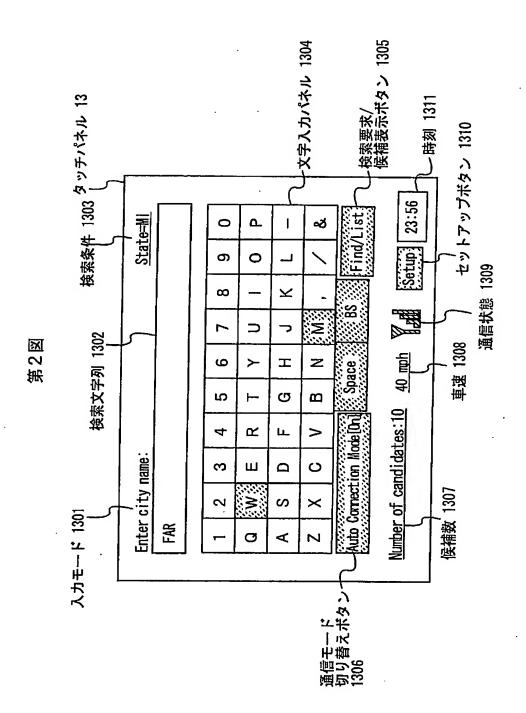
サーバ装置で検索を行うためにナビゲーション装置から目的地等に関する 1以上の文字入力があった場合に、応答待ち時間を極力少なくして通信時間 の削減を図り、或いは利用者の入力を極力活用して公的な入力環境を実現す ることのできる通信型ナビゲーションシステムにおける入力支援方法ならび に装置を提供すること。

ナビゲーション装置(1)とサーバ装置(4)が通信網(3)を介して接続される通信型ナビゲーションシステムにおける入力支援方法であって、ナログーション装置(1)に設けられたキャッシュ・メモリ(14)、通信網(3)を介してサーバ装置(4)から得られた入力文字列に関する次候補と候補数を収納する第1の工程と、少なくとも入力文字列が更新されたときに、キャッシュ・メモリ(14)で次候補と候補数を検索する第2の工程と、キャッシュ・メモリ(14)に入力した文字に基づく次候補と候補数が収納されていない場合にサーバ装置(4)にその入力文字を送信する第3の工程とを備えて構成する。

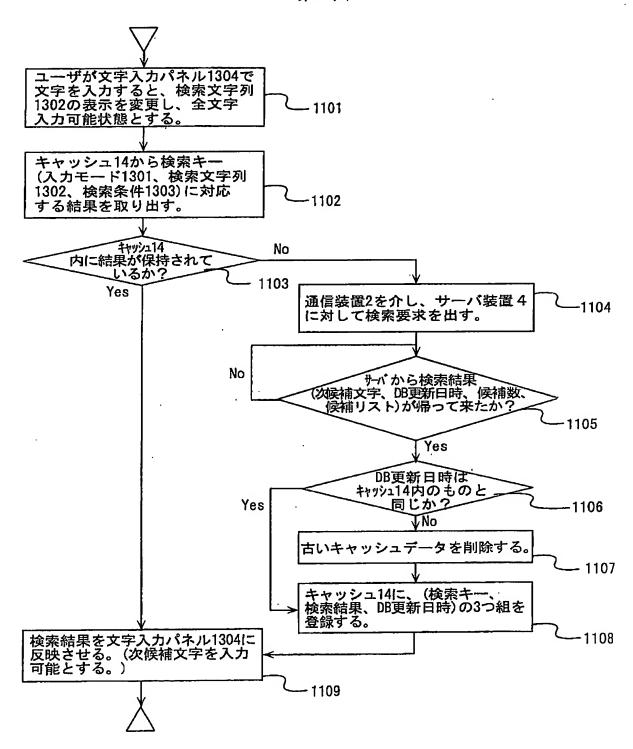
1/14



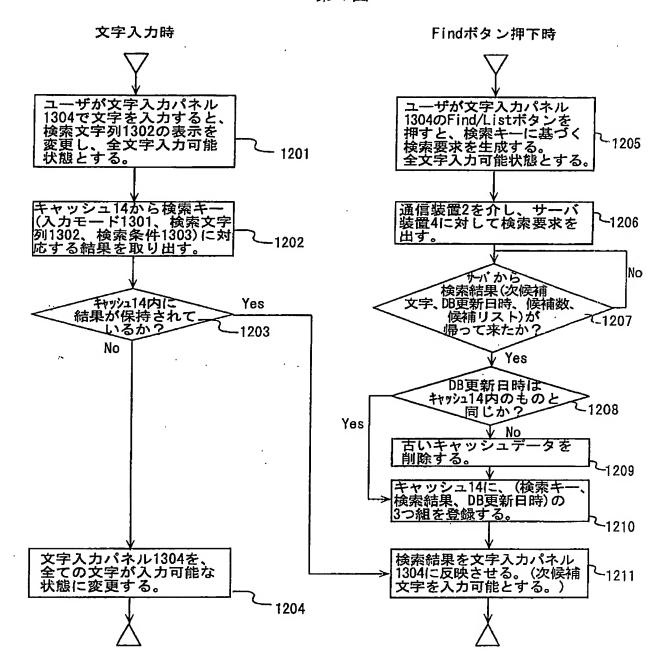
M



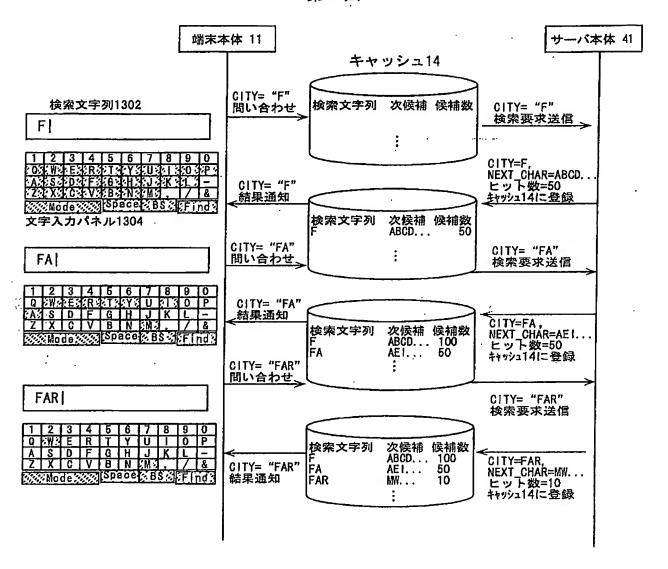
第3図

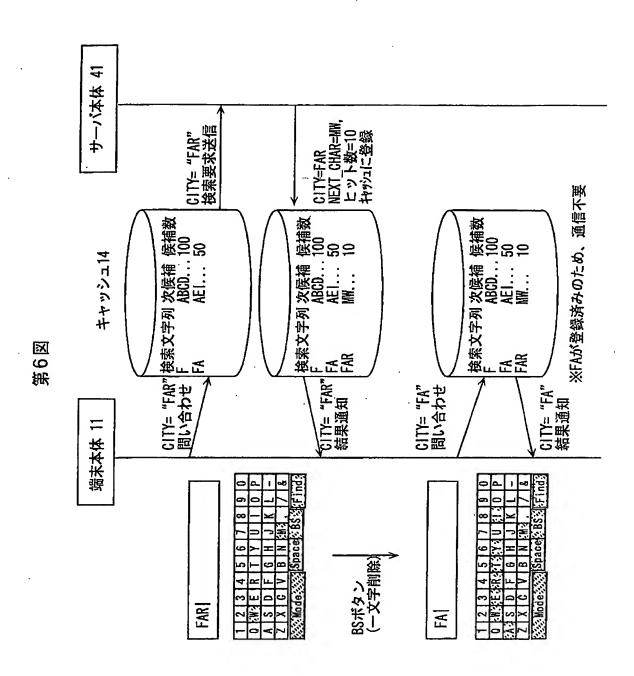


第4図

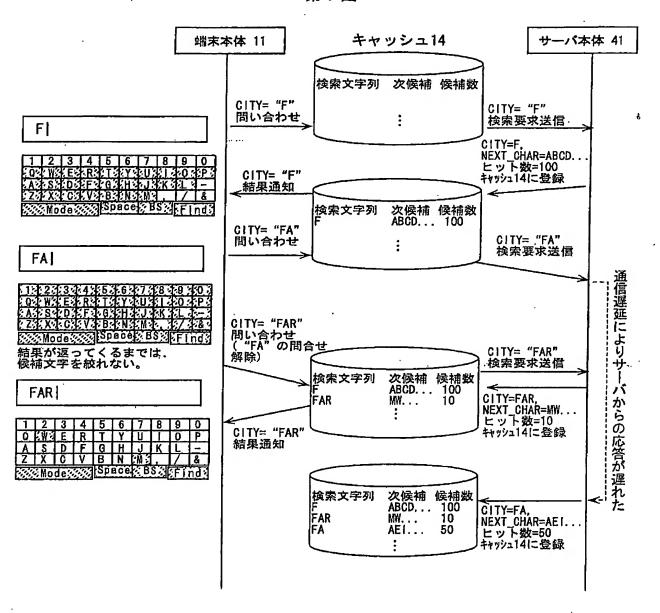


第5図

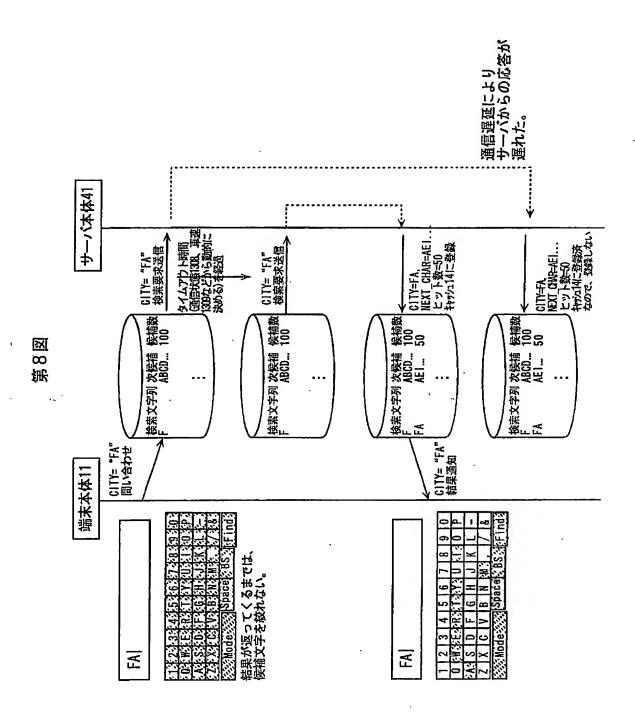


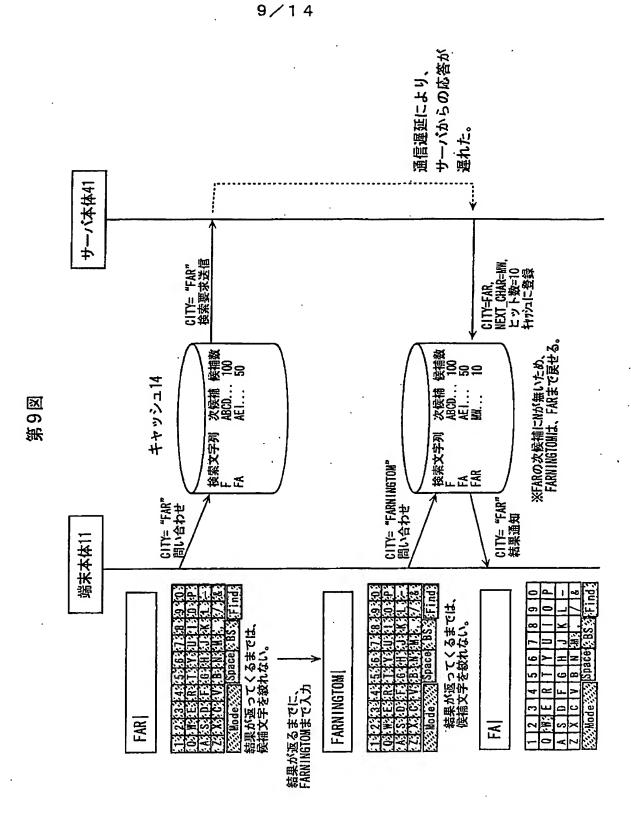


第7図



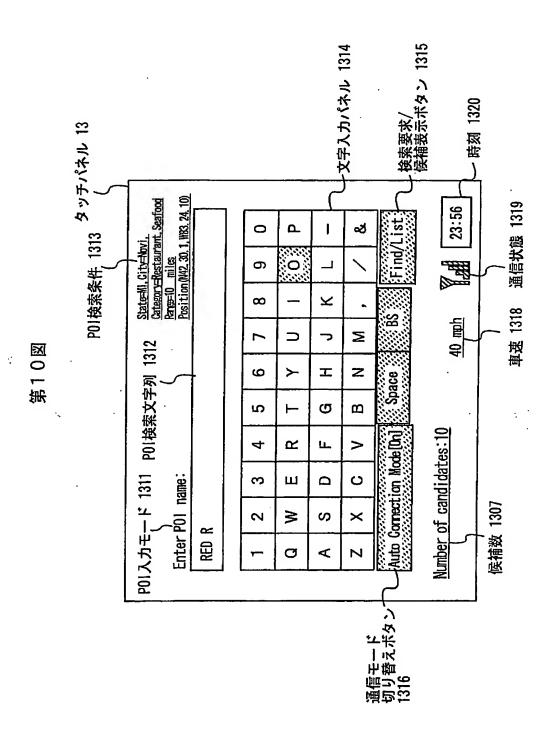
& M



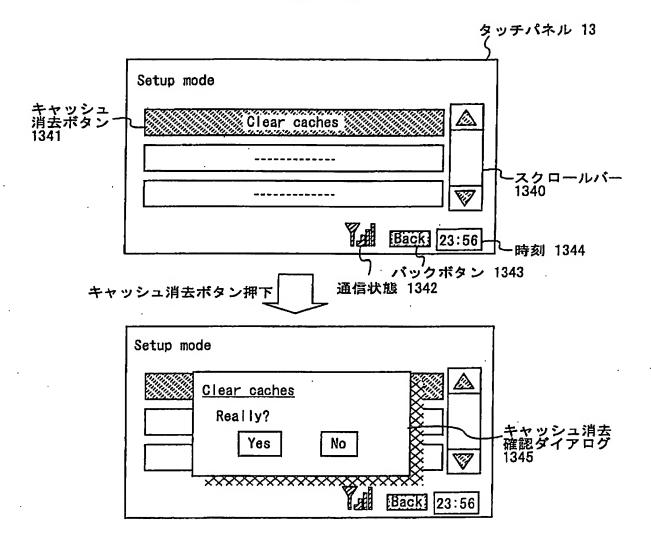


10/14.

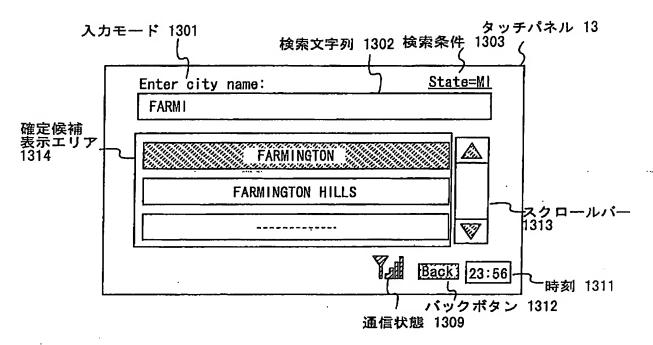
& M



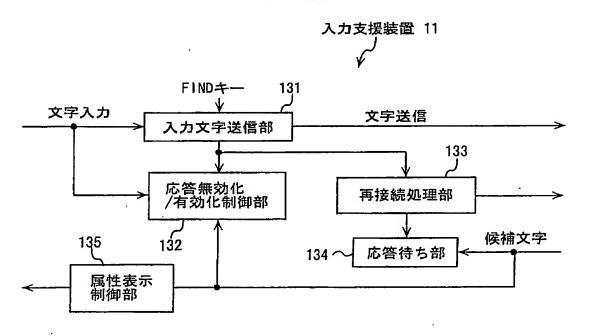
第11図



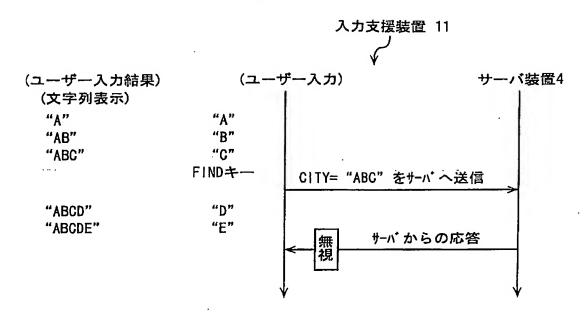
第12図



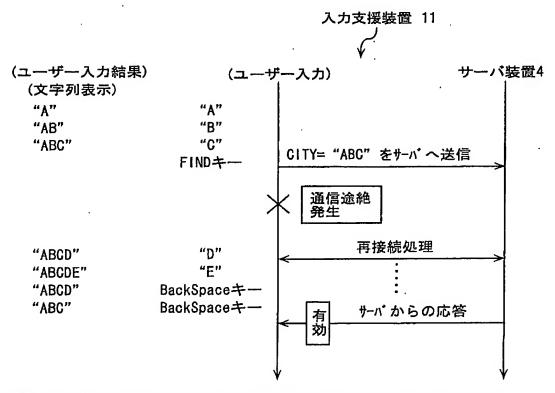
第13図



第14図



第15図



第16図

